

せとうち美術館ネットワーク 子どものアート感想文スペシャルツアー  
**第3回「橋を渡って親子でアート鑑賞」参加者大募集！**  
～神戸から橋を渡って「徳島県立近代美術館」へ行こう！～

せとうち美術館ネットワークでは、子どもたちに美術館やアートを好きになってもらうことを目的に、本州四国連絡橋を渡って美術館を親子で鑑賞するバスツアー「橋を渡って親子でアート鑑賞」の参加者を募集いたします。

バスの中では、美術の先生による楽しいアートのお話を聞いたりしながら徳島へ向かいます。美術館では、所蔵作品展の中からお気に入りの「笑顔」をみつけたり、好きな作品のなかに登場してみたり、親子で楽しめる鑑賞プログラムを企画しています。

また、アートだけではなく、出発前には『橋の科学館』を見学するなど、盛りだくさんの内容です。

夏休みの思い出に、親子で思う存分アートを楽しみませんか！！

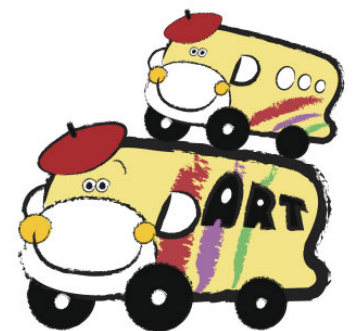
- 開催日時 : 平成24年8月26日(日)
- 内容 : 橋の科学館を見学後、明石海峡大橋と大鳴門橋を渡り、徳島市にある徳島県立近代美術館を訪れ、アート鑑賞や親子で楽しめるイベントを行います。

① 日程

- 9:00 集合・受付開始
- 9:15 開講式 開講式終了後『橋の科学館』を見学します。
- 10:40 橋の科学館 出発
- 11:10 淡路SA 到着  
〔昼食休憩〕※昼食は、お弁当やSA内のレストラン等で各自お済ませください。
- 12:00 淡路SA 出発  
【美術館までのバス車内では、アート鑑賞についての楽しいお話と活動を行います。】
- 13:30 徳島県立近代美術館 到着  
～
  - ・親子で楽しめる鑑賞プログラムを企画しています。
  - ・特別展は、学芸員による解説と自由鑑賞でお楽しみください。
- 16:00 徳島県立近代美術館 出発
- 17:45 橋の科学館 到着・解散  
(渋滞などによる遅れについてはご容赦ください)

② 集合場所

- ・JB本四高速舞子ビル(橋の科学館横)  
(JR舞子駅、又は山陽電車 舞子公園駅から海側に徒歩5分)



- 参加費用 : お一人様100円(団体旅行損害保険料)  
※昼食は、淡路SA内で各自お済ませください。
- 参加対象 : 小学生・中学生の子どもとその保護者(保護者同伴で5名様まで)  
※保護者は2名まで

- **参加条件**：参加者は、アンケートの回答をお願いいたします。  
併せて、美術館に展示してある作品を見て、感じたこと考えたことを文書にする「**子どものアート感想文**」または美術館を訪れた際の素敵な体験、楽しいお話などを文章にする「**私の美術館体験記**」どちらかの提出をお願いいたします。

(子どものアート感想文についてはこちら)

<http://www.jb-honshi.co.jp/museum/kodomo/index.html>

(私の美術館体験記についてはこちら)

<http://www.jb-honshi.co.jp/museum/taikenki/index.html>

- **定員**：約40人（応募者多数の場合は抽選）
- **主催者**：せとうち美術館ネットワーク  
(事務局：本州四国連絡高速道路(株)・(財)本州四国連絡高速道路協会)
- **後援**：神戸市教育委員会・明石市教育委員会
- **協力**：JBハイウェイサービス(株) 神戸営業部
- **応募方法**：封書・はがき、FAX、インターネットにて、お申込みください。

下記申込先宛にて、①参加者全員（1組につき5名様まで応募可）の氏名・年齢、②保護者の方の住所・連絡先電話番号を記載してください。

**【封書・はがきの場合】**

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通4-1-22 アーバンエース三宮ビル  
本州四国連絡高速道路(株)  
「せとうち美術館ネットワーク 橋を渡って親子でアート鑑賞」係

**【FAXの場合】**

FAX：078-291-1359  
「せとうち美術館ネットワーク 橋を渡って親子でアート鑑賞」係

**【インターネットの場合】**

以下のアドレスから応募フォームによりお申込みいただけます。

<https://www.jb-honshi.co.jp/cgi-bin/museum/artentry.cgi>

応募者多数の場合は抽選とし、その結果を保護者の方に連絡いたします。その際 当選者には当選通知書と案内書を送付いたします。

※必要事項の記載がない場合は申し込みは無効とさせていただきます。

※高速道路通行止等により開催が中止になった場合の振替実施、次回開催時の優先参加などの措置はありませんので、あらかじめご了承ください。

※応募された方から提供いただきました個人情報につきましては、本ツアーの実施以外の目的には使用することはありません。

- **応募締切**：平成24年7月29日（日）24時まで  
(封書・はがきの場合は平成24年7月27日（金）消印有効分まで)  
※上記以降のお申し込み分は無効とさせていただきます。

**【お問合せ】**

「せとうち美術館ネットワーク」事務局  
「本州四国連絡高速道路(株) 観光・お客様サービス室内」  
TEL：078-291-1077 (9:00~17:30) 平日のみ

## 【「せとうち美術館ネットワーク」とは？】

瀬戸内の美術館が相互にネットワークを形成して、地域全体としてのアートの魅力を発信する組織が「せとうち美術館ネットワーク」です。ネットワークでは「子どものアート感想文」募集などを通じて、教育普及活動にも力を尽くしています。

平成20年10月の発足時に6施設でスタートし、現在は、41施設で構成されています。



## 【参考：前回の実施内容】

### 第2回 松山・今治発 平山郁夫美術館

#### 第2回「橋を渡って親子でアート鑑賞」のご紹介

- ツアーの目的は、美術館やアートにあまり触れ合う機会がない子どもが美術館に行くことでアートや美術館を好きになってもらうことです。
- 2回目の開催となる今回は、『松山・今治から橋を渡って「平山郁夫美術館」へ行こう!』と銘打って、愛媛県内の親子を対象に、しまなみ海道を渡り、生口島にある平山郁夫美術館を訪れるコースを企画し、参加者募集を行いました。
- 募集段階では定員約30人(バス1台)の規模での実施を予定しておりましたが、定員を大きく上回る応募数となったため、急遽バスを2台に増便し、募集定員枠を拡大して実施することになりました。厳正な抽選の結果、21家族70名の方を当選とし、当日は17家族53名(こども:28名、大人25名)の方々に参加いただきました。

#### 当日の様子

##### バス車内での活動



バス車内では現役の小学校教諭であり現在鳴門教育大学大学院で美術教育学を専攻されている若井ゆかり先生の進行により、平山画伯の絵葉書を活用したアートに関するゲームを行いました

##### アートに関するゲーム



「今日はどこへ行こうか」と聞こえてきそうな絵は？

##### アートに関するゲーム



親子でテーマを考えて、絵葉書を選んで、「展覧会」をつくりました



### 多々羅大橋をバックに記念撮影



昼食場所の多々羅しまなみ公園では、多々羅大橋をバックに、バス車内でのゲームで作成した「展覧会」と一緒に家族で記念撮影。

### 多々羅大橋をバックに記念撮影



出発前に多々羅大橋をバックに集合写真を撮影。

### 美術館鑑賞・作品解説



平山郁夫美術館の平山館長(平山画伯の実弟)から、子どもたちに語りかけながら、解りやすく解説していただきました。

### 美術館鑑賞・作品解説



平山画伯が子供の頃に描いた絵日記に興味深々。

### 美術館鑑賞・作品解説



「せとうち美術館ネットワーク」のアドバイザーである鳴門教育大学大学院教授の山木先生からは、親子が美術館で鑑賞を行うことの意義等をご説明いただきました。

### スケッチポイント巡り



スケッチポイント巡りでは、学芸員の説明で平山画伯が実際にスケッチした場所を実際に歩いて散策しました。また、平山館長のご好意で、生家跡に建てられ、平山画伯が帰省の際に滞在された平山家を開放していただきました。

### スケッチポイント巡り



スケッチポイントには、大島石に平山画伯の絵が陶板に焼き付けられたオブジェが建っており、実際の景色との対比を家族で楽しまれていました。

### 鑑賞終了



鑑賞後、平山郁夫美術館で記念撮影。

### 来島海峡大橋をバックに記念撮影



帰路、来島海峡サービスエリアで休憩をとり、来島海峡大橋をバックに記念撮影。